
薩摩川内市立地適正化計画

～次世代につなぐ、スマートで持続可能なまちづくり～

令和2年3月

薩摩川内市都市計画課

目次

序章 立地適正化計画について	1
背景と目的	1
1. はじめに.....	1
2. 本市における立地適正化計画作成の必要性.....	2
3. 市民意見から考える今後のまちづくりの方向性.....	4
立地適正化計画の策定にあたって	5
1. 立地適正化計画で定める事項.....	5
2. 計画の対象区域.....	6
3. 計画の位置付け.....	7
4. 目標年次と評価等.....	8
5. 計画の構成.....	9
第1章 立地適正化計画の基本方針	10
立地適正化計画の基本方針	10
1. まちづくりの課題.....	10
2. まちづくりの方針.....	12
目指すべき都市の骨格構造	14
課題解決に向けた施策・誘導方針	15
第2章 誘導区域等の設定	17
本市における誘導区域設定の方向性	17
都市拠点の区域設定	18
1. 都市機能誘導区域.....	18
2. 居住誘導区域.....	20
地域拠点の区域設定	22
1. 居住誘導区域.....	22
2. 地域利便性維持区域.....	23
災害危険性のある区域での誘導区域設定	25
1. 災害危険性のある区域での誘導区域設定.....	25
2. 災害への対応策.....	26
誘導施設の設定	28
1. 誘導施設設定の方向性.....	28
2. 都市機能誘導区域の誘導施設.....	29
3. 地域利便性維持区域の誘導施設.....	30

第3章 計画の実現に向けて 31

誘導施策 31

1. 都市機能誘導区域において実施する施策 31
2. 居住誘導区域において実施する施策 32
3. 地域利便性維持区域において実施する施策 33
4. 拠点間のネットワーク形成に向け実施する施策 33

都市のスポンジ化対策 34

1. 低未利用土地利用等指針 34
2. 低未利用土地権利設定等促進事業 35
3. 立地誘導促進施設整備協定 35

第4章 目標値 36

目標値の設定 36

1. 都市機能誘導に係る目標値 36
2. 居住誘導に係る目標値 37
3. 拠点間のネットワーク形成に係る目標値 37

本書の構成について

薩摩川内市立地適正化計画は本編と資料編の2編構成となっています。計画の主な内容等は本編、計画の検討にあたって整理した各種データ等は資料編に記載しています。

本編の内容のうち、資料編に詳細な検討内容等を整理している項目は、項目名の後に資料編の該当ページを記載しています。

本編の項目

資料編の該当ページ

3. 市民意見から考える今後のまちづくりの方向性

資料編 p52-57.

本計画策定にあたり今後の居留意向や必要とされる施設等を把握するためアンケートを実施し、市民アンケートでは1,369名、高校生アンケートでは327名の方々にご回答いただきました。これらの貴重なご意見に留意しながら、本計画の方向性を検討しています。

今後の住み替え予定(単回答)

将来住みたい地域について※高校生(単回答)

